

2020年7月21日

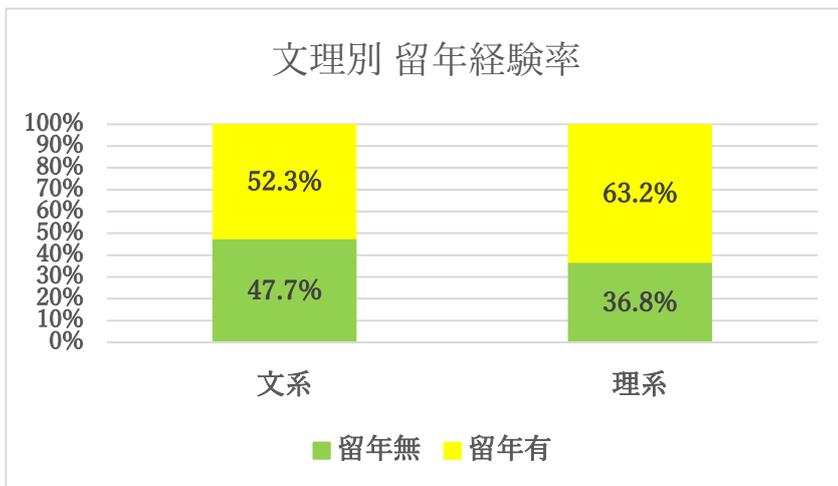
会社名 株式会社ジェイック  
 代表者名 代表取締役 佐藤 剛志  
 (コード番号 7073 東証マザーズ)

## 中退理由アンケート「文系は学業以外に熱中、理系は授業についていけず」 文系/理系中退者で、留年経験率・留年理由に差

当社は、大学中退者向けの就職支援サービス「セカンドカレッジ®」利用者を対象としたアンケートを行いましたので、結果を発表いたします（回答者 248 名、男性 188 名・女性 60 名）。アンケートの結果、文系の中退者と理系の中退者で留年経験率や留年理由に差があり、文系の中退者は約 52%が留年を経験している一方、理系の中退者は約 63%が留年を経験していることが判明しました。また留年理由は、文系が「サークルや部活、バイト等に熱中したから」、理系が「授業についていけなかったから」がそれぞれ最も多い回答となりました。

### <中退者の過半数が留年経験あり。文系と理系で留年経験率に差>

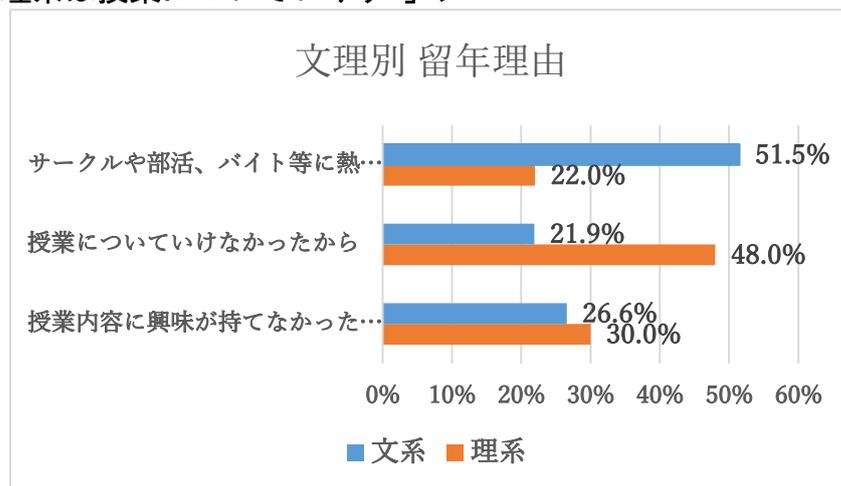
理系の中退者の留年率は6割を超えており、文系と比較して高いことがみてとれます。



### <留年理由「文系は学業以外に熱中、理系は授業についていけず」>

留年理由について文系と理系で比較すると、文系は大学の授業以外での活動に熱中し、理系は授業についていけずに留年してしまう人が多いことが判明しました。

理系学生の場合、「留年して、もう1年、同じ学年を繰り返したとしても、また授業についていけず、再留年するだろう」と考えて中退という選択肢を選んでいる可能性があります。



■調査名称：中退者アンケート（一部中退予定者も含む）

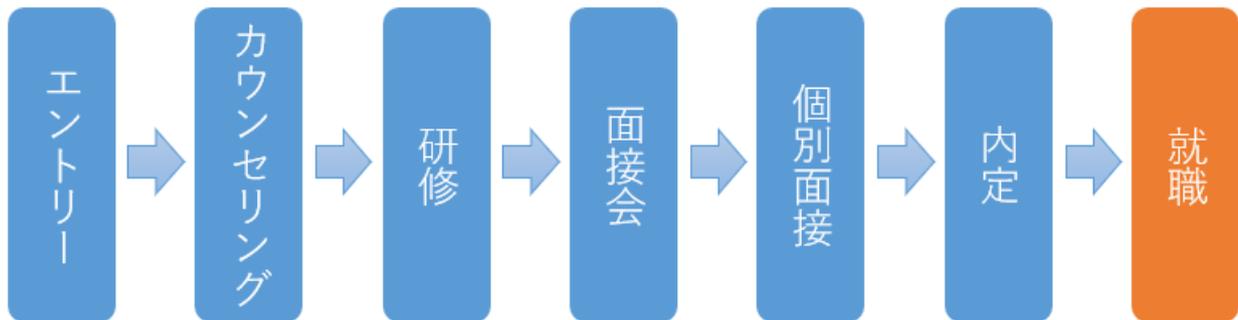
対象：当社就職支援サービス「セカンドカレッジ®」受講生

回答者数：248名（男性188名・女性60名）

期間：2019年4月26日-2020年3月23日

### <大学中退者の就職・採用支援サービス『セカンドカレッジ®』概要>

『セカンドカレッジ®』は、当社サービスである、既卒・第二新卒の人材を研修してから企業へ紹介をする『就職カレッジ®』から派生したサービスです。無料の研修を通じて、受講者は社会人としての基礎力を身に付けながら就活対策することができます。社会人としての考え方、ビジネスマナー、正しい履歴書の書き方や面接のロールプレイングを、実際に体験しながら学ぶことで、面接や就職後に実践できるようなカリキュラムを無料で提供しています。さらに、大学中退者専門の講座ですので「大学中退に対しての振り返りと、その上で社会で活躍する覚悟」を醸成し、前向きな姿勢で社会に出ていくサポートをしています。受講者は研修履修後に書類選考なしで企業と会える面接会に参加することができます。



### <今年5月より設置している『コロナ中退119番』の概要>

新型コロナウイルス感染拡大は、大学生の収入にも大きな影響を与えています。学生団体「高等教育無償化プロジェクト FREE」が2020年4月29日に公表した調査結果によると、「退学を考えている」と回答した学生は20.3%に上ります。アルバイト先の休業等で収入が断たれている大学生も多く、当社にも「アルバイトのシフトに入れず、学費、生活費を稼げない」「親が雇い止めにあっけし、学費を支払っていくことが厳しい」といった相談が寄せられています。

当社では以前より、大学在学中の学生が中退に関する相談ができる窓口を用意しており、電話相談や対面カウンセリングで、学生の悩みや状況に合わせたアドバイスを行ってきました。本年、新型コロナウイルスの影響で中退せざるを得ない、または中退を検討する大学生が増えていることから、新型コロナウイルスの影響による中退者および中退検討者専用の『コロナ中退119番』を設置し、相談をお受けしています。

Webから申込できるURL：[https://lp.jaic-g.com/119\\_LP.html](https://lp.jaic-g.com/119_LP.html)

#### 【お問い合わせ先】

株式会社ジェイック 担当：稲葉

E-mail：info@jaic-g.com テレワーク実施中のため、メールでのご連絡をお願い致します。